

## 開催要領

### 受講料

- ¥220,000円 (会員：税込み)
- ¥275,000円 (一般：税込み)
- 特別会員(※)：半額

※「特別会員」とは、日本MH協会並びに公益社団法人日本包装技術協会の両団体へ入会・登録している法人または個人。受講者1名まで半額(会員価格より)、2名以降は会員価格にて受講いただけます。  
上記2団体のうちいずれか一方のみご入会いただいている法人・個人会員様につきましては、会員価格を適用いたします。但し、個人会員の方はご登録頂いているご本人が代理の方とさせていただきます。

★受講料に含まれないもの  
食事・宿泊費・講義場までの交通費など。なお、合宿形式の宿泊費・食費(ホテル朝食1回、昼食2回、懇親会費)は受講料に含まれますが、集合・解散場所(JR米原駅)までの往復交通費は各自負担となります。

### 募集定員

- 20名 (定員になり次第、締め切りとさせていただきます。)  
最少催行人員10名。最少催行人員に達しない場合、中止させていただきます可能性がございます。

### 会場案内

■公益社団法人日本包装技術協会 会議室  
TEL:03-3543-9335  
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

### 受講資格

物流基礎学力を有する者で、物流関連業務に2年以上の実務経験を有するもの、または当会が適格と認めたもの。

### 受講後の特典および称号

- (1)ロジスティクス・MH管理士講座修了証書授与  
①全日程の3分の2(6日間)以上の出席  
②ケーススタディ全日程への出席
- (2)「MH技術管理士」の称号授与

### 参加申込方法

- 方法①:協会公式ホームページ、「ロジスティクス・MH管理士講座」ページに記載のリンク先より、必要事項を入力する。  
方法②:下記申込書に必要事項を記入の上、メール添付もしくはFAXにて申し込む。
- 上記方法①②いずれかでお申込みいただき、確認後、追って「受講証」「請求書」をお送りいたします。

### 受講料支払方法

- ・請求書に記載した金融機関口座にお振込み下さい。
- ・お振込みは、請求書発行日より60日以内とさせていただきます。
- ・原則として、既納の受講料は返却できませんので予めご了承下さい。なお、キャンセルの場合、代理の方の受講は可能です。
- ・お振込み手数料は、貴方にてご負担願います。

### その他

- ・ご案内事項に変更が生じる場合がございます。予めご了承下さい。
- ・受講者以外の方にテキスト、教材資料等はお渡ししておりません。
- ・会場内では、マスクの着用やせきエチケットなどの感染対策にご協力ください。

## 物流推進リーダー養成の実践講座ご案内

知識詰め込み型を超越し、物流の運用の先見性を具備したカリキュラム!  
自ら学び&物流を創造し物流人間の頭脳を鍛えるプログラム!

第53期

# ロジスティクス・MH管理士講座

主催:日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会  
後援:公益社団法人日本包装技術協会

## LOGISTICS & MATERIAL HANDLING

物流センターの仕組みづくりからロジスティクス・MHを習得するケーススタディ第一線で配送センターを運営、計画する次期リーダーの方々に次の3ポイントをご理解いただき力強い人材を育成します。

- 1 物流リーダーを育成**  
現場力向上講座!
- 2 見える化、現場のマネジメント力を養成**  
実践講座!
- 3 センターを構築する関連技術習得&ケーススタディで実技&評価**  
構築力UP講座!

本講座は、物流センターにおけるコストの最適化、マテハン(MH)の最適化、見える化を組み込んだ最適なMH設備と情報システムの構築企画技術を提案するスキルを養います。また、人員のマネジメントから見た現場運用のノウハウを習得し、物流センター企画構築のプロフェッショナルを養成する我が国唯一の実践講座です。

### 本講座の特徴&目的

- 1 荷主企業(仮想)のデータ(実際に基づく)による「ケーススタディ」を通してロジスティクスの企画・構築力を習得!**
- 2 短期間に貴社における物流推進リーダーの養成および提案書作成のノウハウを習得!**
- 3 グループ研修を通して企業・個人間のネットワーク形成および実践的プレゼンテーション能力を習得!**
- 4 物流現場の運用に直結するWMS・改善ノウハウ・マテハンを理解し、システム構築の手法を習得!**

### このような方にお勧めします

- 3PL・ロジスティクスを担う物流リーダーの方々
- 企業の物流を担う管理者および物流責任者の方々
- 運用設計、設備・情報システム導入企画をする現場担当者の方々
- 自社の物流システムの企画・立案をするの方々
- センター業務の改善を経営トップに提案、提言するの方々
- 物流拡販のシステム提案を企画するの方々

ご記入の上、メール添付もしくは FAXにてお送りください。 **日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会行** メール:info@jmhs.gr.jp FAX:03-3543-8970

会社事業所名 (フリガナ) ( )	<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 一 般	支払予定日 月 日 支払予定
派遣責任者 (フリガナ) ( )	所属・役職名	
勤務先住所 〒 -	TEL: - - FAX: - - E-mail	
受講者1 (フリガナ) ( )	所属・役職名	受付No.
勤務先住所 〒 -	TEL: - - FAX: - - E-mail	
受講者2 (フリガナ) ( )	所属・役職名	受付No.
勤務先住所 〒 -	TEL: - - FAX: - - E-mail	
受講者3 (フリガナ) ( )	所属・役職名	受付No.
勤務先住所 〒 -	TEL: - - FAX: - - E-mail	
名		円

#### 【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「日本MH協会主催第53期ロジスティクス・MH管理士講座」の事業実施に関わる資料等の作成ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合や自治体から要請があった場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

会 期 2026年11月2日(月)~11月24日(火)の内11日間  
●開催日: 11月2日、6日、9日、10日、12日、13日、16日、17日、18日、20日、24日

お申込・お問合せ 日本MH協会 研修担当(e-mail:info@jmhs.gr.jp)  
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階 TEL 03-3543-9335 / FAX 03-3543-8970

# 第53期 ロジスティクス・MH管理士講座 プログラム

日程	時間	講演タイトル	講師(敬称略)
1回 11月2日 (月)	10:00~10:30	開講式・オリエンテーション	
	10:30~12:00	本講座の目的とロジスティクス設計の進め方	青木 規明 生産ロジスティクス研究所
	13:00~15:00	ロジスティクスを取り巻く環境変化と今後の物流	大島 弘明 流通経済大学 流通情報学部 教授
	15:00~17:00	通販・流通業界を取り巻く環境変化とロジスティクス	原 誠一 (株)ジェイアール東日本物流
	17:10~18:30	懇親会 ※状況によっては中止になる場合があります。	
2回 11月6日 (金)	10:00~12:00	貨物のユニットロード化によるトラック輸送の効率化	伊藤 美菜子 大塚倉庫(株)
	13:00~15:00	国際物流、輸出入業務の実態と今後の課題	田阪 幹雄 (株)NX総合研究所
	15:00~17:00	輸送管理システムによる配送マネジメントの基本と手法	山下 啓 山下技術士事務所
3回 11月9日 (月)	10:00~12:00	ケーススタディによる「ロジスティクス設計・構築の基本と進め方」	青木 規明 生産ロジスティクス研究所
	13:00~17:00	最新物流センター計画の進め方	山下 佳一 一般社団法人 日本3PL協会
4回 11月10日 (火)	10:00~14:00 (昼食休憩1時間を含む)	物流センターのピッキングシステム・仕分けシステム	吉田 千春 元西部電機(株)
	14:00~17:00	WMSパッケージ適用と物流センター情報システムの構築	勝間田 泰 (株)インフォセンス
5回 11月12日 (木)	11:00~15:30 (昼食休憩1時間を含む)	物流センター見学勉強会「日に新た館(株)ダイフク 滋賀事業所内)」	★合宿形式
	15:30~17:00	ケーススタディ・オリエンテーション、進め方説明「ケーススタディ・テーマの付与」(講義終了後、懇親会を予定)	
6回 11月13日 (金)	9:00~14:45 (昼食休憩1時間を含む)	ケーススタディ検討 ①企業戦略確認 ②基本条件の定量化・見える化	
7回 11月16日 (月)	10:00~18:00	ケーススタディ検討 ③基本構想作成	青木 規明 生産ロジスティクス研究所 他ケーススタディスタッフ
8回 11月17日 (火)	10:00~18:00	ケーススタディ検討 ④基本設計	青木 規明 生産ロジスティクス研究所 他ケーススタディスタッフ
9回 11月18日 (水)	10:00~18:00	ケーススタディ検討 ⑤運用設計 ⑥コスト試算	青木 規明 生産ロジスティクス研究所 他ケーススタディスタッフ
10回 11月20日 (金)	10:00~18:00	ケーススタディ検討 ⑦提案書作成	青木 規明 生産ロジスティクス研究所 他ケーススタディスタッフ
11回 11月24日 (火)	10:00~17:00	プレゼンテーション・講評(ケーススタディ成果発表)	青木 規明 生産ロジスティクス研究所 プレゼンテーション・講評メンバー
	17:00~19:00	修了式・懇親会 ※懇親会は状況によっては中止になる場合があります。	

内容
本講座の開設コンセプトと受講者の到達目標について、本講座主任講師が分かり易く解説します。
* 人手不足等の問題が、物流に大きな変化をもたらしています。課題に対する対応を今後どのように考えていくべきか、そのヒントを学びます。
* 通販・流通業界のロジスティクスの実態と今後の課題について事例を交えて説明します。
* 輸配送から見た物流効率化のための、荷姿、梱包、輸送容器、ユニットロード化の考え方とその事例について学びます。
* 現在の日本を中心とした国際物流と輸出入業務の紹介と事例、及び今後の課題について説明します。
* 輸配送管理システムの機能と現状の実態、輸配送のマネジメントの基本と手法を学びます。

* ケーススタディを進める上での、検討のステップ、各種手法、考え方を具体的に説明し、ロジスティクスの設計方法について学びます。
* 物流センター計画時のベースとなる知識・基礎を学ぶ:計画の手順、センターの機能、土地・建物、情報システム、部分システムの検討、機器選定の条件等を学びます。
* 物流センター内のピッキングシステムの作業環境、オーダーピッキング、ピッキング方式と関連機器、作業と物量分析、仕分システム、ピッキング・仕分システムの事例紹介等を学びます。
* 物流センターシステム構築の基礎(WMS導入の考え方)、WMS導入におけるシステム構築の進め方、WMS導入とMHシステムとの連携、見える化と物流情報システム(マネジメントのための仕組みづくり)について学びます。

\* ケーススタディの内容について説明します。最終提案までのスケジュールや提案のポイント、最終アウトプット・イメージから評価ポイント等を説明します。

**ケーススタディ予定テーマ  
「輸入消費財の通販物流」**  
商品の海外調達、物流センターを経由した販売物流(店舗、通販宛)の設計と、その物流センターの運用設計

**〈ケーススタディスタッフ〉**  
MH・物流現場の最前線で活躍する講師陣がグループワークに加わり、適宜アドバイスをしながら提案書作成を強力にサポートします。  
山下 佳一 (一般社団法人 日本3PL協会)  
勝間田 泰 (株)インフォセンス  
吉田 千春 (元西部電機(株))

**〈プレゼンテーション・講評メンバー〉**  
MH・物流に関する知識・経験豊富なメンバーが、「仮想企業」の意思決定権者としてプレゼンテーションを受け、講評します。  
鈴木 邦成 (日本大学 生産工学部 教授)  
原 誠一 (株)ジェイアール東日本物流  
吉田 千春 (元西部電機(株))  
総合評価 青木 規明 (生産ロジスティクス研究所)

## 全体最適ロジスティクス・システム構築 ケーススタディプロセス

### グループ分け

### ケーススタディ提起

提案先となる仮想企業データを提起。本データを元にケーススタディを実施する。

### ①企業戦略の明確化

提案先企業の事業戦略、ロジスティクス改革の目的・ニーズを明確化する。

### ②基本条件の定量化、見える化

- ・現状データの解析
- ・将来予測データの決定、ビジュアル化
- ・ロジスティクス設計、前提条件の整理
- ・物流センター処理能力の設定
- ・ロジスティクス運用体制の考え方

### ③基本構想作成

- ・物流センター立地計画
- ・物流センター規模の設定
- ・全体物流フロー
- ・ロジスティクス運用体制

### ④基本設計

- ・物流センター内物流フロー
- ・物流センター内設備設計
- ・全体レイアウト設計
- ・要員計画、物流情報システム
- ・運用フロー、情報フロー

### ⑤運用設計

- ・作業系(入荷、検品、保管、品揃え、出荷、配送)
- ・MH系(入庫、保管、ピッキング、仕分、出荷)
- ・情報系(オーダー管理、作業指示、実績管理)

### ⑥投資効果確認

- ・設備投資関連、システム関連、物流資材
- ・作業要員コスト
- ・経済性計算による事業性確認

### ⑦提案書作成、まとめ

## プレゼンテーション

## 講評